



学校便り
No. 15

※番号は昨年度から継続

夢・挑戦

令和2年8月4日

水俣市立水俣第二中学校

校長 高橋 裕二

暑さに負けず、頑張った1学期

6月から学校が再開され、2ヶ月余りの短い1学期が終了します。生徒が頑張ったことを、いくつか紹介します。

①水曜日は、本来5時間授業ですが、5月の休業中に、先生方の12月までの研修を行い、6月から毎日6時間授業でした。校内を1日数回巡回していますが、生徒は集中して授業に臨んでいました。また、放課後の部活動も一生懸命に取り組んでいました。

②朝自習で1年正負の数の計算プリントに取り組み、第1回計算大会（全学年共通問題）を実施しました。3学年とも学年平均点が8割を超え、満点は1年17名、2年18名、3年22名でした。特に女子は、4学級で平均点が9割を超えました。私の経験や感覚では、どの学年も計算力は熊本県でもトップレベルになりつつあると思います。

③5月の水俣市学校給食センターの会議で、昨年度の二中の一人当たりの残食量が多いことが分かりました。6月から担任の先生や生徒会給食委員会の取組などにより、残食量が全学級ほぼゼロで、劇的に改善したことが分かりました。昨年、市PTA研究大会で講演された長崎県佐世保市の小学校教諭 広田泰三先生は、「生きることは、食べること」「給食の残菜が多い学校は、生徒が落ち着かない」などと、言われたことを思い出しました。

④昨年度は朝の会の時で、1割を超える生徒が登校していないこともありましたが、1学期は全体的に欠席がとてまもなくなくなりました。【2年 ようこそ先輩】



⑤先生方の働き方改革の取組で、今年度から部活動で朝練をする場合は水曜日と木曜日、長距離練習は火曜日と金曜日としました。長距離練習には、毎回自発的に約50名が参加し、体力作りを行っています。すべてのスポーツの基本は「走ること」です。

勝つこと、力を発揮することは難しい！！

7月25日から行われている3年生最後の大会形式の練習試合は、8日の女子バレーボールを残すのみとなりました。団体では、野球と男子バスケットボールが優勝、サッカーが準優勝、個人戦ではソフトテニスが準優勝でした。3年生は今回で部活動は引退となりますが、一つのけじめをつけることができたのではないのでしょうか。試合を応援しながら思ったことは、

【福島県豊間中からの7月豪雨支援物資】

「試合に勝つことと自分の持っている力を発揮することは難しい」と改めて思いました。試合で結果は出すためには、

○人間性 ○授業態度 ○生活態度 ○挨拶
○道具や会場を大切にす ○チームワーク
などが大切になります。集中力が続かずミスが出たり、自分勝手なプレイになったりと日々の生活面が、そのまま試合中に表れます。自分の感情をコントロールして、チームプレイに徹することが勝敗の鍵となる気がしました。人は不安を自信に変えるために、日頃から様々な努力を行うのです。

二小の学校運営協議会の終了後、交通指導員でもある民生・児童委員のお一人が、「毎朝、立ち止まって挨拶をしてくれる二中生がおり、とても気持ちがいいです」と話しかけてこられました。二中生の挨拶は徐々に良くなっているところですが、とても嬉しい気持ちになりました。

また、管外から来校された方が、帰り際に玄関の庭石の円の模様気づかれ、「生徒会役員がやっています」と伝え、とても感動されました。実はその2日前の朝、女子生徒が一生懸命描いているところに偶然出くわし、「きれいに円を描くのは難しいでしょう」と声をかけたところでした。

このように、人が喜ぶことを行うと、必ず人の目に留まります。「習慣は、第二の性格である」という言葉がありますが、気持ち良い挨拶をする、ゴミを拾う、返事や言葉遣いなどの良い習慣は、自然と自分の人格まで高めてくれます。